

北九州市旧九州鉄道本社（九州鉄道記念館）指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 令和4年10月11日（火） 17:00～18:00
- 2 場 所 門司港レトロ観光物産館2階ホール
（北九州市門司区東港町6番72号）
- 3 出席者 （検討会構成員） 南構成員（座長）、佐藤構成員、
植田構成員、齊藤構成員、城水構成員
（事務局）産業経済局観光部門司港レトロ課
門司港レトロ課長、企画調整係長及び担当職員

4 会議内容

- 事務局より当日のスケジュール、審査にあたっての留意点等を説明
- 構成員の互選により、座長を選出
- 応募団体（九州鉄道記念館運営共同企業体）による提案概要説明
- 応募団体（九州鉄道記念館運営共同企業体）への構成員によるヒアリング

（構成員）多言語対応と展示パネルについて、多言語対応を今後充実させていくとのことだが、いま現在で多言語対応出来ているものがあるのか教えていただきたい。

また、展示物についてQRコードを読み込むことで解説を見られるようにするということだが、スマートフォンをお持ちでない方がいらっしやったときに全く解説が見られないのか、それとも何か代わるものを用意するのか、お聞かせいただきたい。

（応募団体）多言語対応については英語、中国語、台湾語、韓国語のリーフレットを入館者に配布して九州鉄道記念館全体の紹介をしている。今後は、各展示物について分かりやすい説明ができるものを整備していきたいと考えている。

QRコードについてはプラスアルファとして若者に向けてより詳しく情報提供しようという考えであり、展示物についての基本的な解説などは施設内に掲示している。

（構成員）3ヶ年の収入計画、支出計画、指定管理料が積算されているが、収入計画もほぼ横ばい、支出計画もほぼ横ばいで結果として指定管理料もほぼ横ばいの提案書になっている。

過去15年間の経験がどのように反映されているのか。

そして、民間活力を発揮するという指定管理の基本的な部分がどこに組み込まれているのかお聞かせいただきたい。

（応募団体）収入計画について過去15年の実績からみて可能な数字を出させて頂い

た。支出については、例えば展示物の修繕等については15年間メンテナンスに携わっている社員がおり、その社員が中心となって外部に委託することなく直営で出来る体制をとっている。

外部委託すると、時間もかかるし、費用も高くなる。

そういったことを避けるため、ノウハウを15年間積み上げてきて、現在の体制となっている。

(構成員) 単体の施設であるし、規模からしてなかなか増収増益は難しいと思うが、入館者を年間500人増やしていく計画について、どういう企画で入館者数を増やそうと思っているのか。

それから、広報の部分でいままでより手厚く出来る部分があるのではないかと思うが、その辺の意気込み、計画について聞かせて欲しい。

(応募団体) 広域での観光客誘致が必要であると考えており、福岡県観光連盟、北九州観光コンベンション協会、門司港レトロ地区の観光業者と一緒に観光客誘致に力を入れていきたい。

お客様を呼ぶツールとしては、旅行商品の造成、旅行雑誌の活用、また、広域でお客様を呼べるように自治体とも連携してPRしていければと思っている。

本日から全国旅行支援も始まり、水際対策の緩和も始まるため、割と固めの目標を設定していると思っているが、この数字は常に上回っていきたいと思っている。

西九州新幹線の開業、九州各地の観光列車などJR九州のプロデュースの列車が沢山走っており、鉄道による地域おこしにより、九州鉄道記念館を盛り上げて、門司港地区、北九州地区を盛り上げることに繋がっていきけると思っている。

10月からは佐賀県、長崎県でデスティネーションキャンペーンというJRグループ全体の取り組みが始まったが、2024年4月～6月は福岡県、大分県合同のデスティネーションキャンペーンをやることが決まっている。

九州鉄道記念館、北九州地区は重要なエリアと認識しているので、皆で盛り上げていきたいと考えている。

(構成員) 隣接地に北九州市の複合公共施設が計画されているが、連携や効果を見込んでいるものがあるか。

(応募団体) 区役所やホールなど多くの方がお見えになる施設であるので、連携して九州鉄道記念館への誘客に努めたいと考えている。

(構成員) 施設に来られた方が九州鉄道記念館に寄って帰ることも考えられるので、積極的にお願いしたい。

- 構成員は、応募団体（九州鉄道記念館運営共同企業体）の提案概要説明と質疑応答を受けて、各自評価レベルを記入。

○ 構成員は、応募団体の評価レベルを発表し、構成員全員で意見交換。

(構成員) 改善点はあると思うがこれまで15年の運営実績を評価した。

(構成員) 専門性の高さから他に追随できるところがない。他に任せられる所がなかなか出てこないだろうと感じている。ただ、その分面白いことをやろうというところが感じられない。消極的などころが見られるため、今後改善して欲しい。

(構成員) 高い専門性と実績を有する共同企業体であり、施設の特長を活かした安定的な管理運営が期待できる。施設や門司港レトロ地区の様々なトピックと連動した事業展開による、施設や地域のにぎわいづくりへの貢献に大いに期待したい。

(構成員) 収入増、指定管理料について期待したいところではあるが、単体の施設のため、固めの目標設定になったのではないかと思う。

(構成員) いままでの実績が安定しているというプラスと、新しい企画がなかなか出ないというマイナスがある。鉄道ファンという根強い層があるようなので、もう少し攻めの運営をやって頂きたい。隣地に複合公共施設が計画されており、一帯がより利便性が高く、また観光拠点エリアとして機能するよう、行政や事業者との連携が望まれる。

○ 構成員は審査項目ごとの議論を踏まえ、各自評価レベルを再考し記入。

○ 各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを、

1 指定管理者としての適性のうち

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針

九州鉄道記念館運営共同企業体は、「3」

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤について

九州鉄道記念館運営共同企業体は、「4」

(3) 実績や経験などについて

九州鉄道記念館運営共同企業体は、「4」

2 管理運営計画の適正性のうち、

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについて

九州鉄道記念館運営共同企業体は、「3」

(2) 利用者の満足度について

九州鉄道記念館運営共同企業体は、「3」

(3) 指定管理料及び収入について

- 九州鉄道記念館運営共同企業体は、「3」
- (4) 収支計画の妥当性及び実現可能性について
九州鉄道記念館運営共同企業体は、「3」
- (5) 管理運営体制などについて
九州鉄道記念館運営共同企業体は、「4」
- (6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについて
九州鉄道記念館運営共同企業体は「3」
が妥当であると決定した。
- 事務局は地元団体に対する優遇措置を反映させたうえでの合計得点を発表。
九州鉄道記念館運営共同企業体の合計得点は、「67」点
- 検討会としての検討結果（総合的な所見）について
高い専門性を有しており、施設の特長を活かした安定的な管理運営が期待できる。
検討会としては、九州鉄道記念館運営共同企業体は適正・有効性・効率性・適正性について十分能力を有しており、指定管理者候補としてふさわしいと判断する。
検討会における議論を十分に考慮し、最終決定を行うよう、市に求めることとする。
- 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。